

阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における公民連携事業導入支援業務委託  
プロポーザル審査結果報告書

1. はじめに

阿山ふるさとの森公園及び周辺の市所有公共施設を一体利用する公園として整備・運営することを検討しており、特に、その整備・運営手法においては、収入増加、施設管理費削減等による財政負担の軽減を目指し、公民連携手法で実施することを目的とした「阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における公民連携事業導入支援業務委託」の発注にあたり、企画力、提案力等の観点から最適な業務受託者を選定するために、公募型プロポーザルを実施することとした。

2. スケジュール

令和2年7月17日（金）第1回阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における公民連携事業  
導入支援プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」）

令和2年7月29日（水） 手続開始の公告

令和2年8月 5日（水） 参加締切（2者から申請）・質問締切

令和2年8月 7日（金） 第2回審査委員会

令和2年8月11日（火） 参加資格通知

令和2年9月 2日（水） 提案書受付締切

令和2年9月 3日（木） 第1次（書類）審査  
第3回審査委員会

令和2年9月25日（金） 第2次（プレゼンテーション及びヒアリング）審査  
第4回審査委員会

3. 審査委員会

①阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における公民連携事業導入支援業務委託プロポーザル  
審査委員会設置要綱第4条第1項に基づき、6名で構成

②同要綱第4条第2項に基づき、委員長・副委員長を互選

委員長	川瀬 正司	伊賀市阿山支所長
副委員長	藤山 善之	伊賀市総務部次長（公民連携推進監）
委員	森 健至	伊賀市企画振興部次長（広聴情報、文化交流・交通政策担当）
委員	福森 靖	伊賀市企画振興部次長（スポーツ振興・国体推進担当）
委員	東瀬 嘉章	伊賀市財務部次長
委員	堀 久二寿	伊賀市産業振興部次長（農村整備、商工、観光、中活担当）

③事務局

伊賀市阿山支所振興課

#### 4. 審査経過

##### (1) 第1回審査委員会

開催日：令和2年7月17日（金）

場 所：伊賀市役所 201会議室

欠席者：1名

概 要

- ・審査委員会設置要綱について
- ・委員長及び副委員長の選任について

確認事項

- ・実施スケジュールについて

協議事項

- ・実施要領について
- ・仕様書について

##### (2) 第2回審査委員会

開催日 令和2年8月7日（金）

場 所 伊賀市役所 401会議室

欠席者 なし

概 要

確認事項

- ・応募状況及び参加資格の有無について
- ・質問状況及び回答について

協議事項

- ・評価基準書について

##### (3) 第1次（書類）審査

開催日 令和2年9月3日（木）

場所 伊賀市役所 405会議室

欠席者 なし

概 要

協議事項

- ・第1次（書類）審査

##### (4) 第3回審査委員会

開催日 令和2年9月3日（木）

場所 伊賀市役所 405会議室

欠席者 なし

概 要

協議事項

- ・プレゼンテーション及びヒアリング実施要領について
- ・質問事項について

##### (5) 第2次（プレゼンテーション及びヒアリング）審査

開催日 令和2年9月25日（金）

場所 伊賀市役所 庁議室  
欠席者 なし  
概要 協議事項  
・プレゼンテーション  
・ヒアリング審査

(6) 第4回審査委員会

開催日 令和2年9月25日(金)  
場所 伊賀市役所 庁議室  
欠席者 なし  
概要 協議事項  
・最優秀提案者及び次点者の特定について  
・講評について

5. 提案書提出者【受付順】

株式会社 パブリック・マネジメント・コンサルティング  
株式会社 長大 三重営業所

6. 審査結果

- (1) 最優秀提案者：株式会社 長大 三重営業所  
(2) 次点者：株式会社 パブリック・マネジメント・コンサルティング  
(3) 評価点【得点順等】

審査項目	配点	株式会社 長大 三重営業所	株式会社 パブリック・マネ ジメント・コンサルティング
得点	840	577	551
順位		最優秀者	次点者

7. 審査講評

本業務は、公民連携事業を導入するため、民間事業者へのサウンディング調査の実績、PPP/PFI 事業等さまざまな知見や施設の整備・運営事業に関するノウハウが必要となります。また、本事業を取り巻くさまざまな状況を理解すると共に、状況の変化等にも柔軟に対応できることが求められます。

審査では、業務の実績及び体制、事業に関する理解度、業務の進め方、業務内容、追加提案、取組意欲、見積額の各評価項目について、企画提案書の内容による1次審査、プレゼンテーション及びヒアリングによる2次審査を行いました。

最優秀者は、シナリオ案である「スポレク文化キャンプ」の現状や課題を分析し、コロナ禍における変化をとらえた提案内容でした。また、事業全体において発生する

リスクを十分理解し、留意点についても適切に示しており、当市に的確なアドバイスが期待できると考えます。プレゼンテーション及びヒアリングでは、企画提案書をしっかり補完したプレゼン資料の整理、具体的で説得力のある説明から事業への取組意欲が伺えました。

次点者は、昨年度に実施した可能性調査の結果を十分に分析し理解した上での提案内容でしたが、現時点における状況変化も考慮して欲しいと考えます。業務の進め方においては、スピード感をもったスケジュール管理の他、企業グループにおけるネットワークに期待できるが、リスク及びリスクヘッジについての具体的記載が無く、的確なアドバイスが得られるか不安な点が残りました。

阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における公民連携事業導入支援業務委託  
公募型プロポーザル審査委員会 委員長 川瀬 正司